

授業科目

英語I [五十嵐 紀子 (水曜2限SW)]

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 五十嵐 紀子 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

授業の概要

身体のしくみや健康、それらに関係する世の中の様々な問題について、英語で書かれた教材を用いて学ぶ。グループでの協働学習やアクティビティが中心となる。

授業の目的

英語の語彙力や読解力を身につけるだけでなく、英語を使い、考えながら、扱う話題のコンテンツに対する理解や思考を深めることを目的とする。また、内容の把握だけでなく、内容について発展的に考え、議論するための英語の学び方を修得し、医療健康福祉の専門職として必要となる、基礎的な知識や態度を身につけることを目指す。

学習目標

1. 各自の専攻分野における関心を深める
2. 日本語に訳すことにこだわらずに英語を理解する癖をつける
3. 内容への理解を深めながら、英語の語彙力を高める
4. 英語を暗記するのではなく、使いながら覚える
5. 互いに協力して教え合い、学び合う
6. 関心のあることについて、自分で調べる
7. 発展的に考えようとする
8. 学ぶことを楽しむ

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|-----------------------------|---|--------|
| 1 | オリエンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画や学習方法、評価方法等、授業に関する説明 ・ 自己紹介 ・ アクティビティ | 五十嵐 紀子 |
| 2 | Sports and injuries (運動とけが) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 怪我をした経験を共有 ・ 身体の部位を表すボキャブラリーの確認、練習 ・ リスニングアクティビティ ・ ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 3 | Sports and injuries (運動とけが) | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボキャブラリーの確認アクティビティ ・ リーディングのKWLチャートを作る ・ グループでリーディング ・ 関心のある怪我について詳しく掘り下げる <p><次の授業までの準備> ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 4 | Blood circulation (血液と血流) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 血液検査を受けた経験を共有 ・ 循環器系のボキャブラリーの確認、練習 ・ リスニングアクティビティ ・ ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 5 | Blood circulation (血液と血流) | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボキャブラリーの確認アクティビティ ・ リーディングのKWLチャートを作る ・ グループでリーディング ・ 心臓の働きと血圧の関係などについて話し合う <p><次の授業までの準備></p> | 五十嵐 紀子 |

| | | | |
|----|---|---|--------|
| | | ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示 | |
| 6 | Muscles and movement (筋肉と運動) | <ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣についての経験を共有 ・筋肉や運動に関するボキャブラリーの確認、練習 ・リスニングアクティビティ ・ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 7 | Muscles and movement (筋肉と運動) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボキャブラリーの確認アクティビティ ・リーディングのKWLチャートを作る ・グループでリーディング ・運動に関連した話題について話し合う <p><次の授業までの準備> ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 8 | Mid-term reviews | <ul style="list-style-type: none"> ・復習と確認 ・アクティビティ <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 9 | Genetically modifies(GM) food (遺伝子組み換え食品) | <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子組み換え食品について、知っている情報を共有 ・食品や遺伝子に関するボキャブラリーの確認、練習 ・リスニングアクティビティ ・ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 10 | Muscles and movement (筋肉と運動) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボキャブラリーの確認アクティビティ ・リーディングのKWLチャートを作る ・グループでリーディング ・食品成分表を読んでみる <p><次の授業までの準備> ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 11 | The Brain: language and sleep (脳：言語と睡眠) | <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関連する話題を共有 ・脳や睡眠に関するボキャブラリーの確認、練習 ・リスニングアクティビティ ・ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 12 | The Brain: language and sleep (脳：言語と睡眠) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボキャブラリーの確認アクティビティ ・リーディングのKWLチャートを作る ・グループでリーディング ・夢と睡眠の関係について話し合う <p><次の授業までの準備> ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 13 | Animal and humans (動物の人間) | <ul style="list-style-type: none"> ・ペットや好きな動物に関する話題を共有 ・動物に関するボキャブラリーの確認、練習 ・リスニングアクティビティ ・ディスカッション <p><次の授業までの準備> 授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 14 | Animal and humans (動物の人間) | <ul style="list-style-type: none"> ・ボキャブラリーの確認アクティビティ ・リーディングのKWLチャートを作る ・グループでリーディング ・動物愛護について話し合う <p><次の授業までの準備> ショートエッセイをポータルサイトで提出 内容は授業内で指示</p> | 五十嵐 紀子 |
| 15 | Final review (まとめ) | | 五十嵐 紀子 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|--------------------------------------|-----------------------------|-----|-------|----------|------------|
| 教科書 | CLIL Human Biology (英語で学ぶ身体のおしくみと働き) | 笹島茂、Chad L. Godfrey、小島さつき 他 | 三修社 | 2016年 | 1,900円+税 | |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | ハンドアウト | | | | | 授業中、適宜配布する |

評価方法

小テスト：65%、グループ課題：10%、個別課題：10%、授業参加：15%

小テスト：中間テストと期末テスト、適宜ミニテストを行うこともある

グループ課題：グループでのアクティビティやタスクの達成度及びクオリティをグループごとに評価する

個別課題：各自がそれぞれ行うべき課題。内容については、授業中適宜指示する

授業参加：自己評価+教員による評価。授業中の積極的な取り組みや発言、仲間のサポートなどについて評価する

履修上の留意点

- ・自分も授業づくりをしているという意識で積極的に、かつ、責任を持って関わって下さい
- ・苦手意識や、自信のなさそのものは学ぶ際の障壁にはなりません。苦手だからやろう、自信がないからやってみよう、と思えるかどうかで成長できるかどうかを決めます
- ・授業でのスマートフォンの使用は、特別認めた時を除き禁止します
- ・テキスト、ノート、辞書は毎回必ず持ってきてください
- ・わからないこと、疑問に思ったことは遠慮なく質問して下さい
- ・グループのメンバーと協力しましょう"

オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントを取ってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。

メールでの相談や質問は、いつでもOKです。

研究室：J406 (J棟 4F)

メール：igarasi@nuhw.ac.jp